

運輸政策審議会答申第18号フォローアップ調査

○調査目的

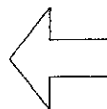
平成12年1月の運輸政策審議会（現交通政策審議会）答申第18号における整備計画路線について、その着実な整備推進を図る観点から、答申後5年を経過した現時点において、最新の社会経済情勢や輸送動向の変化等を踏まえ、それぞれの課題等を調査・整理する。（17～18年度）

○調査フロー

- ・現在の整備状況の把握
- ・答申時と現在の社会経済情勢や輸送動向等の比較



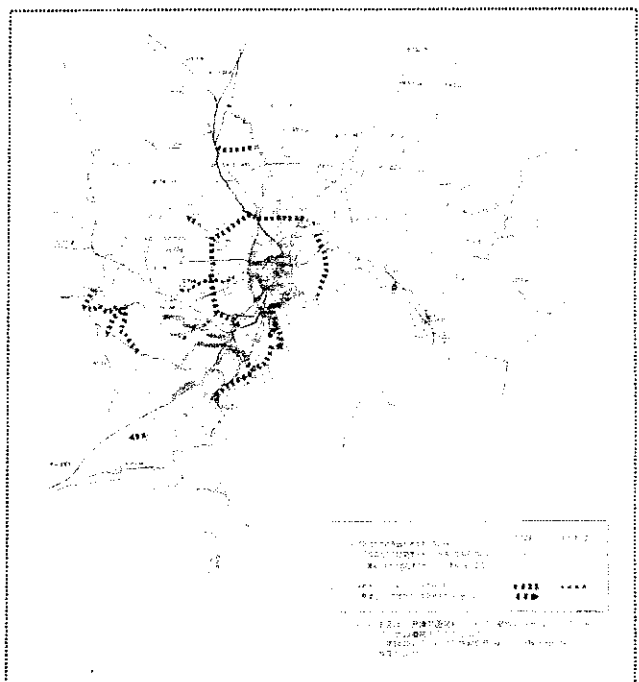
- ・整備計画路線の整備着手に至る経緯、未着手である原因の分析、都市側との連携方策等



- ・ケーススタディ



- ・課題整理
- ・整備促進のあり方
- ・まとめ



東京圏鉄道網図
(平成12年1月 運輸政策審議会答申第18号)

○ケーススタディについて

整備計画路線について、整備促進に向けた具体的な調査、検討を行う。

（対象路線）

- ・つくばエクスプレスの東京延伸 等

（調査内容）

- ・需要予測の検討
- ・整備効果の検討
- ・整備スキームの検討 等

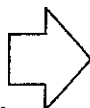
○委員メンバー

学識経験者、国土交通省、
運輸政策研究機構 等

○つくばエクスプレスの東京延伸に関するケーススタディ調査の内容

平成
17
年度

- ・現況整理
- ・輸送実績
- ・沿線開発の状況と見通し 等



平成
18
年度

第1回WG 第2回WG 第3回WG 報告書
8月頃 11月頃 1月頃 3月頃

- ・東京駅位置の検討
- ・整備スキームの検討
- ・需要予測
- ・整備効果の確認
- ・報告書 取りまとめ

つくばエクスプレスの東京延伸について

1. 位置づけ

運輸政策審議会（現交通政策審議会）答申第18号（平成12年1月27日）において、「今後整備について検討すべき路線」※との位置づけ

※沿線の開発プロジェクトの進捗状況、輸送需要動向、投資能力等を踏まえつつ、整備の必要性、整備方策等について検討すべき路線

2. 計画概要

- ①区 間 秋葉原～東京 約2 km
- ②事業費 約1,000億円
- ③工 期 約6年

3. 検討課題

以下のような課題について、引き続き関係者間で議論を深めていくことが必要

①財源の確保

事業費が約1000億円に上ると見込まれるため、その財源をどのように確保するかについて幅広く検討することが必要

②整備スキームの検討

①の検討と平行して、どのような整備スキームによることが適当であるかについて幅広く検討することが必要

③輸送需要や収支採算性の見極め

開業後の輸送需要の動向、沿線における面整備の進捗状況等を踏まえ、東京延伸に伴う輸送需要や収支採算性の見通しについて十分に見極めることが必要

④導入空間の確保

東京駅周辺の開発の成熟状況にかんがみ、工事の難易度、工事費用、乗継ぎ利便性等の観点から、どのように導入空間を確保するかについて複数案を検討することが必要

つくばエクスプレスの東京延伸を推進するに当たっての課題

必要な基礎データの把握

- ・ 沿線の開発動向の収集・整理
- ・ 東京駅の駅位置 及び 東京駅までの延伸経路 の選定
- ・ 概算事業費
- ・ 需要予測
- ・ 延伸による整備効果 等

整備スキームの検討

(現行の無利子貸付スキームと都市鉄道利便増進事業スキームとの比較)

- ・ 貸付・出資スキームと補助スキーム
- ・ 第一種鉄道事業方式と上下分離方式
- ・ 両スキームによる収支採算性の検証
- ・ 首都圏新都市鉄道(株)の将来にわたる健全な経営の確保
(近い将来における 元本返済の開始 及び 有利子債務化)

関係者間における合意の形成

- ・ 整備スキーム(=国と地方の支援方策)の決定
- ・ 地方公共団体間の負担割合の調整(整備箇所と整備効果)
- ・ その他